

市議会だより

No.176



寒さに負けず、元気いっぱい、雪遊びを楽しむ子供たち（おおぞら保育園）

平成12年第4回定例会は、12月5日に招集され、21日までの17日間の会期で開かれました。この定例会では、市長提出議案26件、議員提出議案3件の審議を行い、それぞれ原案のとおり可決、同意しました。

主な掲載記事

- 一般質問を16議員が行う 2～6
- 請願の審査結果 6
- 桐生市基本構想を可決 7
- 環境基本条例を可決 7
- 意見書3件を可決 8
- 人事案件2件に同意 8

一般質問

12月20日(水)
21日(木)の2日
間にわたり、16
人の議員が一般
質問を行い、市
政全般にわたる
問題について、
市当局の見解を
求めました。

質問者

- 関口直久 (日本共産党)
- 西牧秀乘 (政友会)
- 岡部純朗 (市政クラブ)
- 笠井秋夫 (政友会)
- 寺口正宣 (公明党)
- 森下清秀 (政友会)
- 下田文男 (フォーラム桐生)
- 佐藤貞雄 (日本共産党)
- 吉野剛八 (政友会)
- 石井秀子 (桐愛会)
- 園田恵三 (フォーラム桐生)
- 岡部信一郎 (市政クラブ)
- 中田米蔵 (日本共産党)
- 大澤幸一 (フォーラム桐生)
- 幾井俊雄 (市政クラブ)
- 小滝芳江 (フォーラム桐生)

児童虐待の把握

質問 最近では連日、児童虐待の事件がテレビ、新聞等で報道されているが、桐生市では児童虐待の実態をどのように把握しているのか。また、児童相談所との連携はどうか。

答弁 家庭相談員による面接・電話相談や、民生委員・児童委員・保健福祉事務所等からの連絡により把握している。また、児童相談所とは、日頃から家庭相談員が連絡を取り合うなど、情報交換に努めている。な



元気に勉強する子供たち (桜木小)

お、虐待には生活苦に起因する部分も考えられるので、生活保護等の相談を含め、保健福祉部内や関係機関との連携を密にしていきたい。

基礎的学力の保障

質問 すべての子供に基礎的学力を保障する教育について、桐生市ではどのように取り組んでいるのか。

答弁 今回の学習指導要領の改訂は、わかる授業、楽しい学校の実現を目指し、基礎・基本の定着を大きなねらいとしており、各学校では、一人一人を大切にしながらきめ細やかな指導を充実させ、着実な学力の向上を目指した授業改善に積極的に取り組んでいる。

コンピュータ教育

質問 誰もがパソコンを持つような社会を目指して、国が積極的にICT(情報技術)革命を推進している状況を考えると、学校におけるコンピュータ教育は、子供たちが将来さまざまなパソコンに対応できるように配慮すべきであり、いろいろな種類のコンピュータを導入すべきではないか。また、すべての学校がインターネットに接続されるのはいつか。

答弁 導入する機種等は、

教育委員会の内部組織である検討委員会の答申を尊重したい。インターネットの接続は、平成十三年度には残っていた中学校も接続できる予定である。

両国橋の架け替え

質問 両国橋の架け替えは、地元説明会の実施時期着手・完成の時期、周辺の都市計画等をどのように考えているのか。

答弁 平成十三年一月中には地元説明会を開催したい。また、建設省では平成



架け替えが予定されている両国橋

十五年度の着手を予定しており、完成は十九年度末になると聞いている。周辺の都市計画は、マスタープランに基づいて研究したい。

桐生川の河川改修

質問 建設省が行っている桐生川濁沼地区の河川改修の現況と、それに伴う境



河川改修が進む桐生川濁沼地区

野第七号雨水幹線の樋管工事の見通しはどうか。

答弁 建設省渡良瀬工事事務所によると、桐生川濁沼地区の河川改修は、十一月一日に川の流れを新河道に切り替え、現在は旧河川を締め切る堤防及び側帯工事等を施工しているとのことである。境野第七号雨水幹線の樋管工事は、建設省との協定、協議が平成十三年の一月か二月になるため、工事着手は十三年度の渇水期である十月後半から十一月になる予定である。

少年サッカー場

質問 子供たちのために渡良瀬川の河川敷公園の中に少年サッカー場として使える多目的芝生運動公園を計画できないか。

答弁 河川敷の公園に少年サッカーができるグラウンドを計画することについては、緑の基本計画のアンケートでも、広場のある公園がほしいという要望が出されており、今後、地元とも協議しながら、スポーツができるような広場の配置を研究、検討していきたい。

行政区のバランス

質問 安中市では、行政区の世帯数等のバランスを検討した結果、百二十区の行政区を五十七区に統合すると聞く。桐生市においては、最も世帯数が多い十五区は約七千百世帯であるが、最も少ない二区の世帯数は約五百四十世帯であり、バランスを欠いた状況になっているわけだが、このことをどう考えているか。

答弁 区及び町会の規模は、歴史的背景や立地条件等のさまざまな状況の中で

形成されたものであるため、地元住民の要望、コンセンサスを得なければならず、行政が統合や分割を積極的に行うことは難しい。



心が癒される清流の水辺

川の水辺での遊び

質問 川の水辺で子供が遊ぶのは危険ということで、今は子供たちを遊ばせないのが当たり前となっているが、子供を自然に触れさせて育てていくという観点から、安全な場所を指定することはできないか。

答弁 季節、天候による川の状況変化に伴う危険性や安全管理面を考えると、この場所が安全ということ指定することは難しい。

国のＩＴ講習会

質問 現在、国は全国各地でＩＴ（情報技術）講習会を実施しようとしているが、この講習会を受講するとパソコンを使ってどういうことができるようになるのか。また、この講習会事業が実施される年度と、桐生市で受講できる人数についても聞きたい。

答弁 このＩＴ講習会における習得目標は、パソコンの基本操作、ワープロ文書の作成、インターネットの利用、電子メールの送受



市民と行政をつなぐインターネット

信の四点である。実施年度は平成十三年度で、桐生市では、三千八百人余りが受講できる予定である。

特定疾患の見舞金

質問 桐生市では、特定疾患患者に見舞金をおくり、本人とその家族を慰問しているが、過去三年間の該当患者数と見舞金支給金額の推移はどうか。

答弁 特定疾患見舞金の受給者数は、平成九年度は延べ千九人、十年度は、延べ千六百六十九人、十一年度は、延べ千三百七十六人で増加傾向にある。見舞金支給総額についても、受給者数に応じ増加傾向で推移している。

都市計画事業

質問 都市計画決定する場合の目的・理念・基準等の考え方を聞きたい。また、現在決定されている事業はどのくらいあるのか。

答弁 都市計画決定は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために計画を定めるもので、適正な制限のもとに合理的な土地利用を図ることを基本理念としている。現在決定されている事業は、道路が五十路線、公園が三十か所、緑地が五か所、公共下水道区域が約

三千七十一ヘクタール、土地地区画整理事業区域が約百七十四ヘクタールである。

ボランティア基地

質問 森林清流ボランティアの活動に、市としてはどのように関わっていくのか。また、ボランティア基地の利用方法は、どのように考えているか。

答弁 森林清流ボランティア活動に携わる人たちの志は大変高く評価されるものであり、尊重していきたい。（仮称）梅田ボランテ

ィア基地の利用方法は、主に森林清流ボランティアの活動拠点と考えているが、市民にも開放し、利用できるようにしたい。



建設が始まったボランティア基地

学校評議員制度

質問 学校評議員制度とは、地域住民、保護者等の意見を聞いて、地域に開かれた学校づくりを目指すものであり、たいへん素晴らしい制度である。県内他市では導入の動きもあるようだが、桐生市では導入する考えがあるか。

答弁 同制度の導入に向けて、幼稚園、小・中学校養護学校の関係者による学校評議員制度検討委員会を設置し、検討した結果、平成十三年度から、地域に開

かれた学校を目指し、準備のできた学校から順次導入する予定である。

いのしし牧場

質問 北関東自動車道が開通しても、今のままでは観光客が桐生市に立ち寄らずに素通りしてしまうのではないかと心配である。そこで、桐生市の活性化策として、再度、いのしし牧場の建設を提案したい。

答弁 以前にも答弁したとおり、行政がこのような事業を行うことは考えてい

ない。北関東自動車道の開通に伴い、観光事業として民間が行うということであれば、期待したいところである。



いのしし（桐生が岡動物園）

学校教育の実態

質問 文部省が実施した学校教育に関する調査では授業を「よくわかる」という子供が、小学校では四人に一人、中学校では二十一人に一人、高校では三十人に一人という状況になっているわけだが、教育委員会はこの実態をどう考えているのか。

答弁 この調査結果については十分に承知している。現在は、このことを受けて、新しい教育課程の実施に向けて取り組んでいるところ

である。



用地買収が進む中通り大橋線予定地

中通り大橋線

質問 中通り大橋線事業

について、都市計画決定区間、事業認可区間等が明確でないために混乱が生じている。ここで明確にしたい。

答弁 現時点では、国道五十号までが都市計画決定された都市計画道路であり、南小学校脇交差点から渡良瀬川までの六百二十メートルが事業認可された区間である。今後は、渡良瀬川左岸側の早期事業完了と右岸側の早期事業着手に努力したい。また、五十号からの延伸区間についても早期に実現できるようにしたい。

B型・C型肝炎

質問 非過熱血液製剤を使用した医療行為等により、多くの人がB型・C型肝炎に感染し、大きな社会問題となっているが、わたらせ健康診査でもB型・C型肝炎のウイルス検査を行うべきではないか。

答弁 わたらせ健康診査で肝機能に異常値を示した人には、B型・C型肝炎を含めた肝臓病の精密検査を受けるよう指導しており、ウイルス型肝炎の早期発見・治療に結びつけてい

アレルギー対応食

質問 牛乳アレルギーの対応食が学校給食で実施されたことを、アレルギーの

子供を持つ親は大変喜んでい

る。その後、アレルギー対応食について何か進展したことはあるか。

答弁 現在は、牛乳アレルギー対応食としてウーロン茶を出しているが、調査で麦茶の希望が多かったため、平成十三年一月から麦茶に変更する。また、同月

から、卵アレルギー対応食として、焼き魚等の代替食を出す予定である。

女性に対する暴力

質問 女性に対する暴力

答弁 今年度は、男女共同参画セミナーを実施しており、これからも、講演会・研修会を継続的に実施し、啓発していきたい。

菱町地区の市有林

質問 今年度、桐生市が取得した山林（過去にゴルフ場として計画された土



豊かな自然が残る菱町地区の山なみ

地）を含めて、菱町地区には市有林として広大な土地があるわけだが、可住地面積が少ないという桐生市の現況の中で、この土地をどのように活用していくのか。

答弁 新たに取得した山林を含めた菱町地区の市有地は、地質があまり良くないため、開発には危険が伴うことから、可住地面積という点で開発する考えはない。自然環境を保全しながら、ハイキング等ができるように整備していきたい。

みなで楽しい給食タイム（桜木小）



みなで楽しい給食タイム（桜木小）

施設の安全対策

質問 以前に高齢者講習会で自動車教習所を訪れたお年寄りが、階段で転倒し、後日死亡するという事故があったが、市有施設・道路等の安全対策はどうか。

答弁 公共施設は、バリアの除去、使いやすさと安全性の確保等に配慮しなければならぬと考えており、高齢者、障害者、そして子供も安全かつ快適に利用できるように配慮している。



スロープと手すりが設置された市営住宅

白滝姫人形の公開

質問 織姫神社の白滝姫人形は、東京国立博物館にも作品が所蔵されている安本龜八という有名な人形師による大変素晴らしい人形であるが、市では、どう評価しているのか。また、常設公開する考えはあるか。

答弁 日本の芸術史上に輝く人形師の作品であり、貴重なものと認識している。なお、織姫神社の管理は地元が行っており、市独自に一般公開することはできないが、地元の方々と向きに協議していきたい。

新桐生駅前の売店

質問 東武鉄道の新桐生駅前の売店が閉店になってしばらく経つが、新桐生駅前に売店がないのは寂しい。同店舗の土地は東武鉄道の所有で、建物は個人所有と聞かすが、駅前のにぎわいを演出するという点からも、何らかの形で売店等に活用できないか。

答弁 同店舗については、東武鉄道所有の敷地内にあることから、東武鉄道が建物を買い取り、現在は、駅の利用客にとって利便性の

高い活用方法を検討していることである。



通学の学生などでにぎわう新桐生駅

北関東自動車道

質問 北関東自動車道は

利用者が活用することによって、初めて生きてくるものであり、最大限に活用するために、市民等の使う側の意見を取り入れるべきと考えるがどうか。

答弁 道路はつくるのが目的ではなく、利用してもらい、地域を発展させることが目的である。利用者が求めていることを知ることが重要と考えており、利用者である市民等の意見を十分に聞きながら事業を進めていくべきだと認識している。

医療保険の改正

質問 健康保険法等の改正で、高齢者の支払う医療費の一部負担金が従来の定

額制から上限を設けての一回負担制に変更されるが、高齢者にとっては大きな負担増になるのではないか。

答弁 保険者の健全な保険財政運営に対する増え続ける老人医療費の影響をふまえ、この改正を実施すると聞いている。一回負担制になった場合の負担増については、個々に診療内容が異なり、費用額も異なるため、どの程度の負担増になるかは一概に言えない。

生活保護制度

質問 日本国憲法は、国

民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障しており、国民は誰でも生活に困った時には、権利として生活保護を受けることができるわけだが、桐生市における生活保護制度の運用はどうか。

答弁 保護を必要とする人には十分な支援ができるよう、地域の民生委員等と協力し、市民への制度の浸透と相談体制の確立を図っており、早期対応による適正実施に努めている。

IT革命

質問 平成十三年一月には、IT基本法（高度情報通信ネットワーク社会形成基本法）が施行されるが、IT革命というものを、どのように認識しているのか。

答弁 IT革命は新たな社会システムの構築等、さまざまな変革をもたらすものであり、市全体として真

正面から取り組まなければならない課題と認識している。また、膨大な情報の中で、いかに的確に情報を認識し、理解し、活用するか

ということが重要になるものと考えている。

PFI促進法

質問 PFI促進法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）が平成十一年七月に成立しているが、このPFI方式の事業運営をどのように考えているか。

答弁 平成十一年度には地方卸売市場の冷蔵庫等を民間資金で建設しており、すでにPFIの考え方は取り入れている。平成十三年

度に民間が実施する養護老人ホームの建設も、PFIの手法を活用した事業であると認識している。



民間資金を活用した卸売市場の冷蔵庫



市民の健康をにやう医療機関

請願の審査結果

この定例会では、19件の請願を審査しました。その結果は、不採択としたものが1件、閉会中の継続審査としたものが18件でした。

● 不採択とした請願

件名	25号「激増する農畜産物の緊急輸入制限(セーフガード)の発動を求める」意見書採択を要請する請願
結果	不採択(多数が不採択に賛成)

● 閉会中の継続審査とした請願

総務委員会	2号	青年の政治参加をひろげる18歳選挙権の早期実現をもとめる意見書の採択に関する請願
	7号	消費税のせめて3パーセントへの引き下げを求める請願
	8号	日本国憲法にうたう人権が施策のなかで尊重されることを求める請願
	9号	平和な群馬の空と大地を求める請願
	20号	「際限のない規制緩和政策に歯止めをかけるよう国に要請する意見書」採択の請願
	21号	消費税の大増税計画の中止を求める請願
22号	NTT「お客さま営業窓口」の存続を求める請願	
建設委員会	23号	「公共事業の生活密着型への転換を国に要請する意見書」採択の請願
産業経済委員会	24号	「働くルールの確立を国に要請する意見書」採択を求める請願
教育民生委員会	1号	すべての学校で30人学級を実現し、公立高校学級削減の再検討を求める請願
	4号	業者婦人の健康と母性をまもり介護保険の改善を求める請願
	5号	介護保険の改善と福祉サービスの充実を求める請願
	12号	安心して暮らせる年金制度確立のための請願
	13号	介護保険制度に関する請願
	15号	安心して子育てができる制度確立のための請願
16号	教育予算増額・小規模学級実現など教育課題実現を求める請願	
19号	育児・介護休業法の拡大を求める請願	
26号	介護保険の保険料・利用料の減免と特別養護老人ホーム待機者をなくすことを求める請願	

お知らせ

次回定例会の開会予定は

3月2日(金)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部要旨を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成12年第4回定例会の会議録は、2月下旬からご覧になれます。

なお、桐生市ホームページでもご覧になれます。

都市景観の形成

質問 桐生市では、平成六年に都市景観形成基本計画を策定しているが、その後どのように都市景観の形成に取り組んできたのか。また、今後の取り組みをどのように考えているか。

答弁 都市景観形成の取り組みでは市民及び事業者の協力が重要であり、機会をとらえて周知に努めてきたところである。今後も、市民の誇りや愛着を高め、訪れる人たちの心に残るよ

うな都市景観の形成に努力していきたい。

特定商業整備事業

質問 まちづくりと商業振興を目的とした特定商業集積整備事業により、中心商店街に、本町三丁目商店街の「トポス」、中央商店街の「ジョイタウン」、本町四丁目商店街の「あーとほーる銚座」が完成したわけだが、その利用状況等の成果はどうなのか。

答弁 トポスの利用者は昨年度で約四千人、ジョイ



あーとほーる銚座に展示されている銚

タウンの利用者は昨年度で約九千人、銚座の来場者は約一万六千人であり、街にぎわいをもたらしているものと理解している。

バランスシート

質問 市政の透明性を高め、市民に対して数字をもつて市政の状況を明確に説明する責任、アカウントビリティがますます重要になってきており、県内でもバランスシート(貸借対照表)を公表する市町村が増えてきている。桐生市では、バランスシートの公表をどのように考えているか。

答弁 平成十二年三月に自治省から統一基準が示されており、この基準をもとに検討し、作業を進めてい



利点が多い電動式生ごみ処理機

る。できる限り早い時期に作成し、公表したい。

質問 「他の自治体では電動式生ごみ処理機

電動式生ごみ処理機購入の補助制度があるのに、どうして桐生市にはないのか」という意見を多くの市民から聞くが、補助制度を導入する考えはあるか。

答弁 電動式生ごみ処理機は、コンポスト方式と比べて、土地の確保が不要で堆肥化までの時間的短縮等多くの利点があるため、県内他市町村の動向を研究し、補助制度の導入について前向きに検討しているところである。

第四次総合計画

桐生市基本構想を可決

賛成討論

「人と自然にやさしいにぎわい織りなすまち」という桐生市の将来都市像を具現化するために、10事業の特別プロジェクトを中心に位置づけ、相互に連携を図り、効果的に推進しようとする手法は適切であり、この基本構想に賛成する。

反対討論

この基本構想には大企業奉仕の政治を続ける政府に「桐生の産業を守れ」と要求する観点がない。また、特養ホーム待機者等の介護保険の問題や国保税の滞納の増加などに解決の展望がなく、前進はあるが飛躍がないため、反対する。

市民参画による計画策定は

答弁 素案の段階から、わかりやすい表記に心掛けたことや、希望と期待を含め、計画人口を実現可能な十二万人と設定したことなどである。

第二次総合計画との違いは

答弁 素案をインターネットや広報等で供覧し、さらに、審議会に公募による五人の市民が入り、審議が行われたことである。

活力ある産業の育成は

答弁 例えば、桐生の繊維産業には多品種少量生産という特色と高い付加価値があり、行政としても、こ

この定例会では、桐生市第四次総合計画の基本構想について審議し、賛成多数で可決しました。

なお、同基本構想を審査するにあたっては、基本構想審査特別委員会(委員14人で構成)を設置し、2日間にわたり慎重に審査を行いました。

同特別委員会における、主な質疑に対する市当局の答弁は次のとおりです。

学校教育の充実については

答弁 知識、理解を深めるだけでなく、自分で課題を見つけ、自ら学び、考えることができるような子供を育成することを重点に、授業改革を進めている。

れらを活かす施策を行い、協力していきたい。

厳しい財政状況での計画推進は

答弁 今後は、ますます財政的な厳しさが増すものと考えており、コスト意識の向上、行政評価制度の導入、バランスシートの導入などを考えていきたい。

主な議案

社会福祉施設運営基金に関する議案

桐生市社会福祉施設等運営基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

原案可決(全員賛成)

概要

老朽化した市有施設の改修費の財源の一部に、同基金を取り崩して充てるため、処分規定を設け、市有施設の老朽化に伴う改修等に活用できるように条例改正を行うもの。

条例施行日

平成十二年十二月二十七日

交通安全に関する議案

桐生市交通安全条例
原案可決(全員賛成)

概要

近年、交通事故が増加傾向にあり、中でも高齢者の事故が顕在化していることから、交通安全に関する基本理念や、市・市民等の責務などを定め、交通安全を推進しようとするもの。

条例施行日

平成十三年一月一日

環境保全に関する議案

桐生市環境基本条例
原案可決(全員賛成)

概要

桐生市の豊かな自然を後世へ引き継ぐため、環境保全の基本理念、市・市民等の責務、環境施策の基本事項等を定め、環境保全に努めようとするもの。

条例施行日

平成十三年一月一日

意見書

この定例会では、意見書3件が、議員より提出され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。(12月22日付で送付)

道路整備と道路特定財源制度堅持に関する意見書(要約)

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済・社会活動を支える基礎的な施設であり、その整備は重要であるが、大都市圏を除くとまだ十分でなく、整備促進が要望されており、国道50号バイパスの未整備部分の早期着工や、北関東自動車道の早期実現を切望しているところである。さらに、アクセス道路や、環状・基幹道路も未整備で、交通渋滞が慢性化しているため、道路整備は本市の最重要課題である。よって、道路整備の促進を図るため、次の事項を強く要望する。

1. 平成13年度予算の道路特定財源制度の堅持
2. 市町村道から高規格幹線道路に至る道路網の整備
3. 地方の道路整備の促進
4. 地方の道路財源の確保

提出先 内閣総理大臣 大蔵大臣 建設大臣

遺伝子組み換え食品に関する意見書

遺伝子組み換え食品は、これまで人類が食した経験のないものであり、国民はその安全性について少なからず懸念を抱いている。そこに今回、アレルギーを引き起こす恐れがあり、日本で未承認の遺伝子組み換えトウモロコシスターリンクが、食品に混入していることが明らかになった。このような事態が決して生じないように対策を強化し、国民の不安を根絶することは緊急の課題である。よって、政府においては、遺伝子組み換え農産物及びこれを原料として用いたすべての食品について、厳格な安全審査と検査体制の確立ならびに表示の義務づけ及び輸入トウモロコシなどの船積み前検査の実施を早急に行うよう強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 厚生大臣 農林水産大臣
自治大臣

渡良瀬川の水質保全に関する意見書

渡良瀬川の水質保全については、渡良瀬川の表流水を上水道の水源としている桐生市民は重大な関心を持っている。平成12年9月12日は、停滞前線に伴い大雨となり、渡良瀬川上流域にも激しい降雨があった。このため、本市及び群馬県、太田市の三者で足尾地域及び下流域の水質を調査したところ、上流域における渡良瀬川本川及び支川の一部の地点において、一時的に基準値を超える重金属が検出された。このことは誠に遺憾であり、憂慮すべきことである。本市においては、群馬県等関係機関と協力し、渡良瀬川の水質保全に努めているところであるが、国においても、渡良瀬川流域の重金属等の流出機構の解明と防止に鋭意努力していただくよう強く要望する。

提出先 厚生大臣 環境庁長官

傍聴席から



石内 一夫さん

桐生市三吉町二丁目

中通り大橋線という大橋業に直接関係する住民として、同事業の推進状況があまりにも不安なことに不満を抱き、一体何をやっているのか、桐生市の将来はどうなるのかという気持ちで、毎回議会を傍聴してきましたが、そこで感じたことは、市民として、議員がどういった視点で発言しているのか、を知ることがとても重要だということと、傍聴する市民が少なすぎるということでした。

一般会計予算の補正

平成十二年度桐生市一般会計補正予算(第5号・第6号・第7号)

それぞれ原案可決(全員賛成)

概要

5号・6号・7号の三つの補正予算により、一般会計予算の総額は四百五十六億八千四百四十九万六千円となりました。なお、歳出の主な補正の内容は、中通

人事案件

り大橋線事業の用地購入費等、PCBを使用した照明器具の交換、明治館駐車場の取得、ニューイヤークレジット委託料などです。

市議会は、人事案件二件に同意しました。

教育委員会委員

中嶋 三代 氏 (再任)

人権擁護委員

山口 隆 久 氏 (再任)